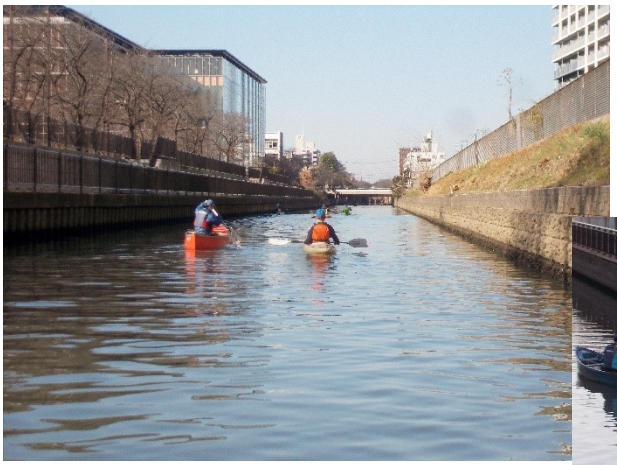
特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 320 号] 令和 3 年 2 月 10 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

獨協大学船着場 9 名初上陸



2 月 7 日(日)、木村、古田、佐藤ご夫妻、磯部、林、井坂治、井坂次、中島の 9 名が獨協大学船着場間 2.3 ㎞の**浮遊ゴミ拾いで 3 袋の成果**でした。今回は、獨協大学船着場上陸について、越谷県土整備事務所、草加市、獨協大学関係者の協議で**許可をいただいて初めての上陸**でした。平時は桟橋への立ち入り禁止と鍵締めがされていますが、今日は扉を開けてスムーズに大学の正門側へ上陸することが出来ました。井坂治氏は、バスボートに 2 サイクル 4 馬力トランザム S を装着して救助艇の操船テストをしました。人命救助や大震災時の救援物資輸送の水路確認が出来ました。又、木村、磯部両名はカナディアンカヌーをシングルパドルで 2.3ｋｍを漕ぎ切りました。危機管理の充実を少しずつ図って参ります。

スポーツ記念体育館５名初上陸

2月10日(水)、木村、古田、村田、井坂、中島の５名の自主活動で、左岸船着場から伝右川下流5.0㎞に位置する**スポーツ健康都市記念体育館**へ初上陸をしました。水辺には不法投棄のゴミが散乱していました。およそ１時間ほどの**ゴミ拾いで26袋分と敷布団２枚、自動車タイヤ４本、丸太２本の成果**でした。

越谷県土整備事務所の注意勧告の立て看板は全く無視されている状態でした。行きは引き潮に乗って30分、帰りはゴミの重量と逆流によって40分程かかりました。

上陸の目的！

①救助艇の水路確認をしました。大震災で陸路が絶たれた時の人命救助、救援物資輸送の可能性の検証です。必ずこの体育館は、避難民でいっぱいになることが予測されます。
②この伝右川で、親子カヌー体験会の開催を検討しています。スポーツ協会と共催で実施し、水辺に親しむ街づくりを推進します。